



このイラストはAIで生成しています

ていじせい 定時制の旋風

2025年 10月号

発行者 教頭 松本康一

県立小野工業高等学校 定時制課程

「心を開くこと」

まずは、下の絵をご覧ください。



皆さんはこのイラストからどのような印象を受けましたか。実はこのイラストはAIによって、作成したのですが、二人の人（USAとロシアをイメージしています）がお互いに握手をしたいと願っているのに、手にはそれぞれ武器を持っています。この武器は、私たちが新しい人と出会ったり、誰かと仲良くなりたいと思った時に、心のどこかに抱えてしまう不安や警戒心を象徴しているものでもあります。

では、彼らが本当に手を取り合いたいなら、どうすればいいでしょうか。直感的な答えは、「武器を一旦置き、心を開く」ことでしょう。「心を開く」とは、自分の弱さを見せることであり、相手を信頼することです。最初はその一歩が怖く感じるかもしれません。しかし、相手も同じように不安を抱えている可能性があるのです。

私たちが心を開くことで、相手も安心して心を開いてくれることがあります。そうすることで、新しい友情が生まれたり、これまで気づかなかった相手の素晴らしい一面を発見したりすることができます。

この絵が示すように、お互いが「武器」を手放さなければ、本当の意味で近づくことはできません。私たち自身も、心の中に人を遠ざけてしまう「心の武器」を持っていないか、一度立ち止まって考えてみましょう。

今日から少しずつで構いません。自分の方から進んであいさつをするなど、周りの人に心を開いて接してみませんか。きっと、その先には素敵な出会いや、温かい信頼関係が待っているはずです。

【東播・淡路生活体験 発表大会】

9月7日（日） 松陽高校みかしほ会館にて
東播・淡路生活体験発表大会が開催され、本校代表として、2名の生徒が出場しました。



大会では、全日制とは異なる、様々な年齢や社会経験を持つ生徒の多様な人生が垣間見え、一度は諦めかけた学びを再開した人、仕事や家庭



と両立しながら通学している人など、困難を乗り越えて学ぶ強い意志に感銘を受けました。また、発表中には感動してすすり泣く聴衆の方もおられるような緊張する雰囲気の中、本校代表の二人とも多くの人の前で堂々と話す姿に大変好感が持てました。

結果として、3年生の兒玉 陽菜さんが4位、1年生の安藤 蒼空さんが5位と、大健闘してくれました。これからの活躍にも期待しています。

（文責 教頭 松本 康一）